

場所情報コードの活用

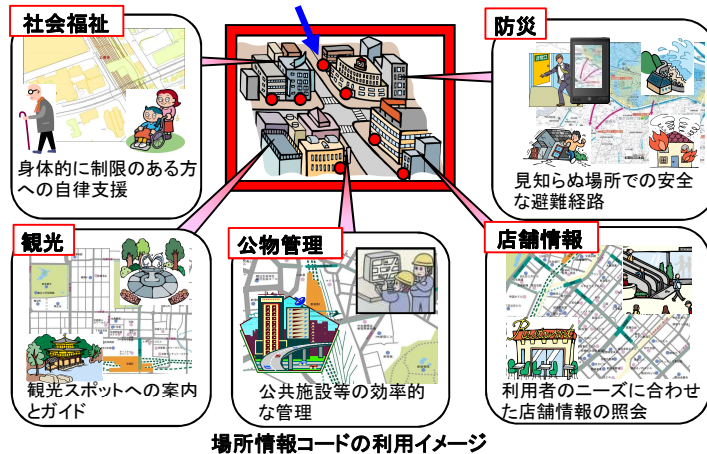
国土地理院測地部

場所情報コードって？

ある地点が「どんな場所で、どんな情報が提供されているのか？」を呼び出すコードで、スマートフォンなどで読み取って情報を呼び出します。ucodeと呼ばれる通信分野のコード体系を使い、「〇〇の位置にある△△」のように特定の地点を位置で識別し、その地点や周囲の登録された情報を呼び出すことができますようにしました。

場所情報コードはコードだけで位置を表現することもできるため、通信を行わずに概略の位置を把握したり、屋内外で位置情報をシームレスに扱えるようになります。そのため、多様なサービスへの応用が期待できます。

ICタグ等に共通化した場所情報コードと関連情報を付与

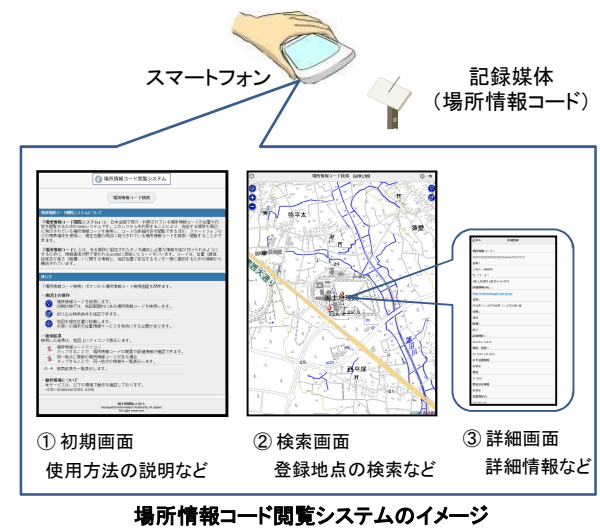


場所情報コード閲覧システム

日本全国で発行・利用されている場所情報コードの位置や内容を閲覧するためのWebシステムです。

このシステムを利用することにより、指定する場所の周辺に発行されている場所情報コードを検索し、登録された情報を閲覧できます。

また、スマートフォンなどの携帯端末を使用し、現在位置の周辺に発行されている場所情報コードを検索・閲覧することができます。



NFCタグとスマートフォン等による場所情報コード閲覧システムの検証を実施中

三角点標示板、電子基準点表示杭及び水準点表示杭に貼付されているQRコードやNFCタグ(NFC対応のICタグ)をスマートフォン等で読み取ることで、対象点における緯度・経度、標高などの情報を閲覧することができます。

スマートフォン等でお試し下さい

スマートフォン

標示板・表示杭

試してみよう!

QRコード

NFCタグ

表示板

NFCタグ

表示杭

QRコード

※NFCタグから情報を閲覧するにはNFC対応の機種が必要です。
※今回の実証実験で閲覧できる情報は、基本的な位置情報のみですが、専用のWEBサイトやアプリを作成することで様々な情報を追加することができます。



実証実験の実施場所(地理院構内:写真の●印)

詳細は、「場所情報コード閲覧システム」(<http://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/>)をご覧ください